

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市東部地域療育センター保育所等訪問支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 16	(回答者数) 4	4
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数) 4	4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月9日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 12	(回答者数) 8	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	横浜市東部地域療育センター内で「保育等訪問支援プロジェクト」を招集し事業の計画、検討、運営を多職種により行っています。	今年度も利用者の保護者様、訪問先の施設の皆様から支援に内容について良い評価をいただきました。所内での関係職員による保育所等訪問プロジェクトは今年度も引き続き実施し年度の事業計画、検討、運営、見直しなどを行ってきました。多くの職員が関わり検討することを意識的に行っています。	今後も継続的にプロジェクトを実施し状況共有と支援内容の見直し、検討を行っていきます。
2	専門職による支援を充実させています。	それぞれのお子様を担当している専門の職員による訪問を行っています。保育の中で取り入れられるような具体的な支援についてお伝えしています。	今後も、訪問する各職種の職員が研修に参加する等の研鑽を積み、より良い支援ができるように資質向上に努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数と頻度について少ないのご意見がありました。	例年と同じく、訪問回数を増やしてほしい、対象のお子さんの様子によっては2か月に1回程度の訪問があるとありがたいのご意見もいただきました。 課題の要因は東部地域療育センターの利用児が多く、担当地区の園数も多いことがあげられます。	対応数が多い事は改善はむずかしいですが保育所等訪問支援以外にも通常の巡回やチームによる地域支援を実施しています。地域の保育所等に向けた研修を今後も開催していきます。
2			
3			